

13
日

加嶋代表が20周年記念講演

不登校を考える「津久見星の会」

不登校を考える親の会「津久見星の会」の20周年記念講演会が13日午後1時から、津久見市民会館第1会議室で開かれる。

津久見星の会は、1994年10月に佐伯で発足した「星の会」（加嶋文哉代表）に次ぎ、96年11月に誕生。子

どもの不登校に悩む親の気持ち聴く場として、大分、別府など県内5カ所で開かれている例会の一つを担っている。

講演は、通算700回を超えた例会に欠かさず足を運び、親の声に耳を傾けてきた加嶋代表が「不登校・ひ

きこもりの子どもの心を読み解く」と題し話す。

「不登校の子どもが苦しみ、求めているものは何か。実例から学んだ支援のタイミングの見極めや親がすべきことを伝えたい」と加嶋代表。

不登校を経験した青年の体験発表もある。参加費は千円。

問い合わせは小野みちるさん(☎090・4340・4301)へ。